



新潟県産「メロン」を香港へ2年連続で輸出（輸出量4倍）

東北経済連合会（会長：増子次郎 以下、東経連）は、新潟商工会議所（会頭：福田勝之）及び新潟県内の関係諸団体の協力を得て、新潟の生産者と九州の地域商社「九州農水産物直販株式会社（以下、九直）」を結びつけることにより、昨年度に引き続き、県産メロンが香港へ輸出されましたのでお知らせします。

輸出されたのは、香港で人気のある赤肉メロン（クインシー）800玉（1ケース4玉入り×200ケース）で**昨年に比べ、輸出量は4倍となりました。**（昨年は200玉、50ケース）

輸出された赤肉メロンは、九直を通じて7月3日に生産者から出荷され、香港の大手小売りグループであるデイリーファーム（参考3）で店頭販売されました。店頭に並んだ新潟県産メロンについては、実際に購入したお客様から、「一度食べたら忘れられないほど甘くて、おいしく、食感も硬めでとても気に入った、また購入したい。」や、デイリーファームのバイヤーからは「店頭に並べて最初の土日で完売した。来年度はさらに発注数量を増やしていきたいと考えている。」と高く評価されています。

輸出されたメロンの生産者である「株式会社^{さなだ}眞田農園」（新潟市西区赤塚）の^{さなだ まさゆき}眞田政幸代表は、「来年度はさらに数量を出せるよう体制を整えて準備している。新潟の砂丘地帯で作られた糖度の高いメロンを是非、香港の方に味わっていただきたい。」と話しています。

今回の輸出事業に協力いただいた新潟商工会議所では、新潟の魅力ある農産物の輸出拡大をオール新潟で推進していくこととしており、東経連としても、こうした取組を全面的に支援し、新たな新潟県産品の輸出につなげてまいります。



メロンを収穫した際の
眞田農園のみなさん



眞田農園から
出荷された時の様子



香港での店頭販売の様子

【本件に関するお問い合わせ】

（一社）東北経済連合会
新潟商工会議所

食・観光グループ
事業部総合政策課

山添
金田

電話：022-397-6528
電話：025-290-4207

1 案件の概要

1 案件の概要

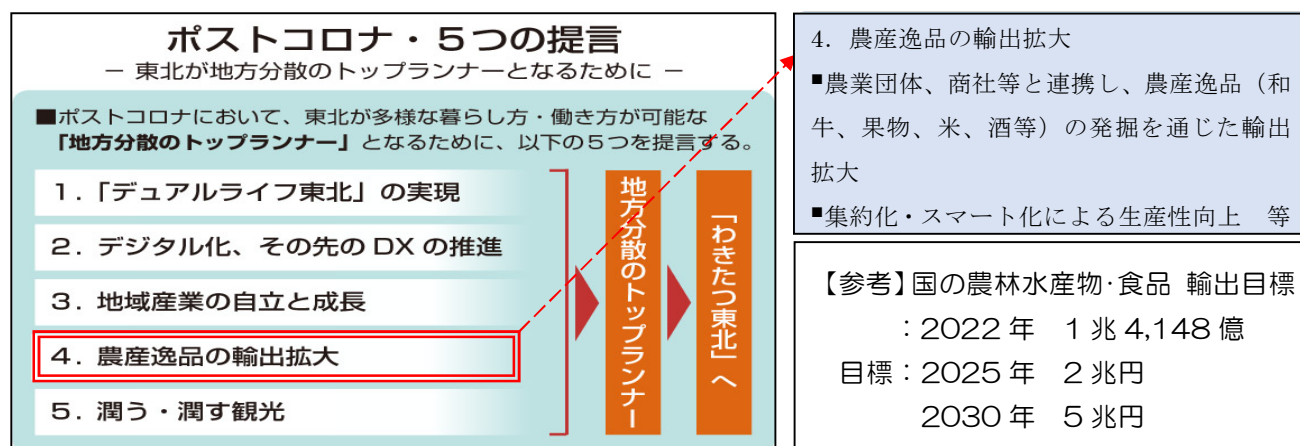
2 東北経済連合会のこれまでの輸出支援実績について

産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	2021 年 8 月	96 ケース (5～6 玉/ケース)
			2022 年 8 月～9 月	合計 384 ケース (5～6 玉/ケース)
	鶏卵		2022 年 3 月	608 ケース (15 パック/ケース)
	キャベツ		2023 年 7 月	100 ケース (8 玉/ケース)
岩手県	キャベツ	香港	2023 年 7 月	300 ケース (8 玉/ケース)
			2023 年 8 月～10 月	合計 800 ケース (200 ケース (8 玉/ケース)) / 週 (全 4 週)
	米		2023 年 10 月	432 ケース (10 袋/ケース、2Kg/袋)
秋田県	枝豆	香港	2022 年 9 月	50 ケース (20 袋/ケース)
山形県	メロン	香港	2019 年 7 月	300 ケース (5 玉/ケース)
			2021 年 7 月	48 ケース (5 玉/ケース)
			2022 年 7 月～8 月	合計 500 ケース (4～6 玉/ケース)
			2023 年 7 月	合計 480 ケース (4～6 玉/ケース)
			2024 年 7 月	合計 610 ケース (4～6 玉/ケース)
	啓翁桜	香港	2023 年 2～3 月	合計 245 ケース (20 束/ケース)
新潟県	メロン	香港	2023 年 7 月	50 ケース (4 玉/ケース)
			2024 年 7 月	200 ケース (4 玉/ケース)
宮城県	サツマイモ	香港	2021 年 2 月	300 ケース (10kg/ケース)
			2021 年 4 月	300 ケース (10kg/ケース)
			2021 年 11 月～2022 年 3 月	約 120 トン (10kg/ケース、約 12,000 ケース)
			2022 年 11 月～2023 年 3 月	約 100 トン (10kg/ケース、約 10,000 ケース)
			2023 年 11 月～2024 年 3 月	約 80 トン (10Kg/ケース、約 8,000 ケース)
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2021 年 10 月	22 ケース (40 パック/ケース)
			2022 年 9 月	22 ケース (40 パック/ケース)
			2023 年 9 月	8 ケース (40 パック/ケース)
	キャベツ	香港	2021 年 11 月	630 ケース (8 玉/ケース)
	仙台牛	台湾	2023 年 7 月～	12 頭/月

3 東北経済連合会の輸出事業の概要

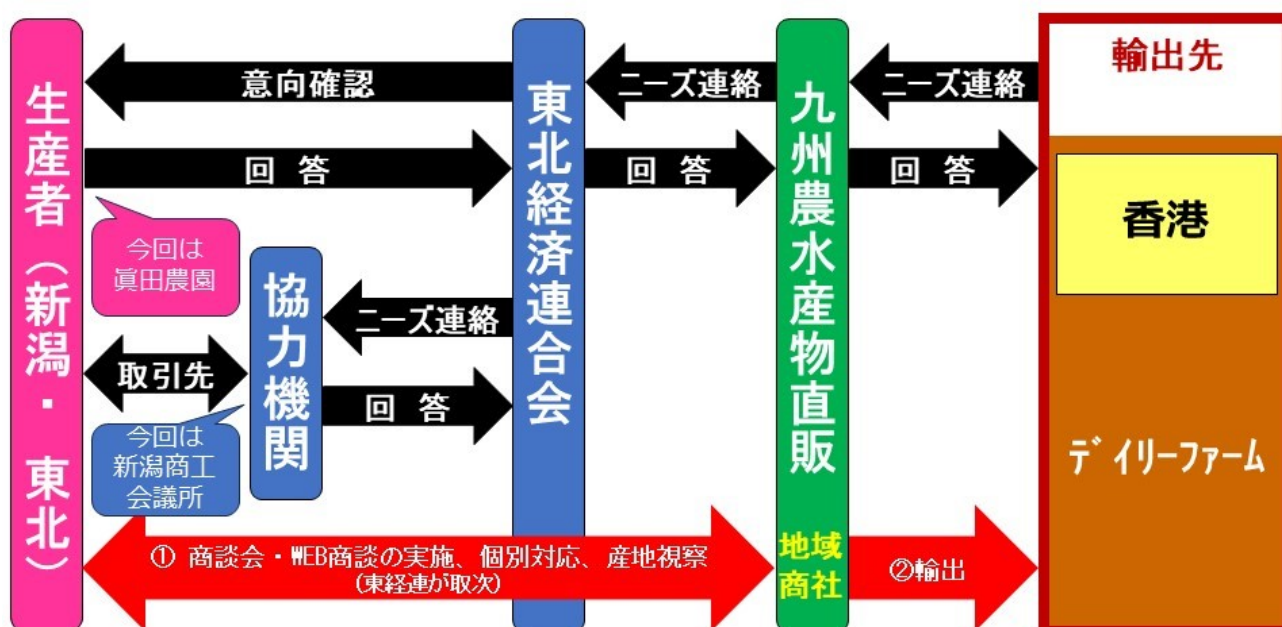
【輸出事業の位置付け】

- 東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言4. 農産逸品の輸出拡大」に向けて取り組みを展開している。
- 輸出拡大は、人口減少下で地域経済の縮小が見込まれる中、新潟・東北の基幹産業の一つである第一次産業の活性化により、所得の向上や雇用の確保を図り、地域経済の活性化に資するものと考えている。



【事業スキーム図】

【東北と九州が連携した輸出事業スキーム】



東経連の役割

- ・海外のニーズに対して、新潟・東北域内の生産者・商品の選定と紹介
- ・新潟・東北域内生産者と九州農水産物直販との商談の設定

【参考 1】九州農水産物直販について

会 社 名	九州農水産物直販株式会社
代 表 者	小田 保（元：九州経済連合会 農林水産部長）
所 在 地	福岡市博多区博多駅前 2 丁目 12 番 10 号
設 立	2015 年 8 月 28 日
資 本 金	1,890 万円
業 務 内 容	農水畜産物の輸出入ほか
株 主	JA 宮崎経済連、(株) 麻生、九州電力 (株)、(株) 九電工、エスジーグリーンハウス (株)、日本通運 (株)、三井住友信託銀行 (株)

【参考 2】眞田農園について

名 称	株式会社眞田農園
代 表 者	代表取締役 眞田 政幸
所 在 地	新潟市西区赤塚 4053
設 立	2023 年 5 月 30 日法人化（眞田農園は歴史ある農園で、現代表の眞田政幸氏は創業者から数えて 20 代目に当たる。）
資 本 金	100 万円
業 務 内 容	青果物等の生産（メロン・スイカ・カブ・ネギなど）
作 付 け 面 積	5.3ha

【参考 3】デイルーフームについて

会 社 名	DFI Retail Group Holdings Limited (元：Dairy Farm International Holdings Limited)
業 種	小売業
主 要 株 主	Jardine Matheson Holdings
創 業 年	1886 年
店 舗 展 開	約 10,000 店舗（コンビニ、美容、飲食店、スーパー、家具店などアジア 13 の国々で展開）
うちスーパーマーケット	約 1,700 店舗（香港では約 300 店舗を展開。他、中国、マレーシア、シンガポールなどで展開）

以 上